

特定非営利活動法人 絆

2018年度 事業報告書

事業実施の方針

- ・「困った時はおたがいさま」の心で助け合い、助け合いの輪を地域に広げる。
- ・一人ひとりの困難に向き合い、その人がその人らしく生活できるよう、心に寄り添う支援を行う。
- ・世代を超えた人と人との絆を大切にし、互いに学び合い、支え合いながら、生きがいや自己の実現につなげる。

事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係わる事業

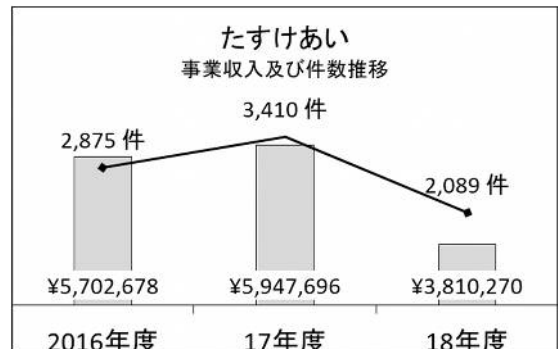
① 在宅福祉サービス事業

○ たすけあい事業

根拠事業 自主事業

事業概要 現行の公的制度では対応でき

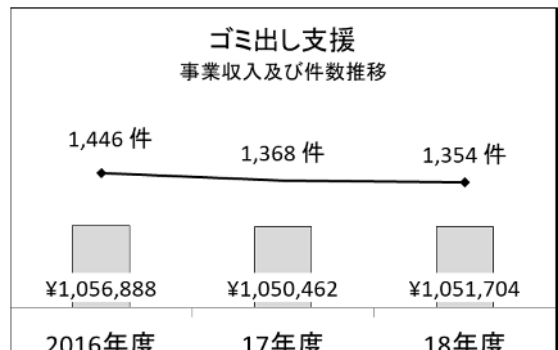
ない家事援助、身体介護、お話し相手、子育て支援、代行などの在宅支援や、家で一人では心配な方、他者との交流を求めている方に、気軽に通える場の提供などを行った。



○ ごみ出し支援事業

根拠事業 東浦町委託（環境課）

事業概要 避難行動要支援者名簿に登録されている方や、65 歳以上の方の中で、ゴミを出すことが困難なご家庭のゴミ出し支援を行った。



○ 子育て支援ヘルパー

根拠事業 東浦町委託（児童課）

事業概要 様々な要因で、家事または育児を行うことが困難で、日中支援する方がいないご家庭へ、ヘルパーを派遣する。

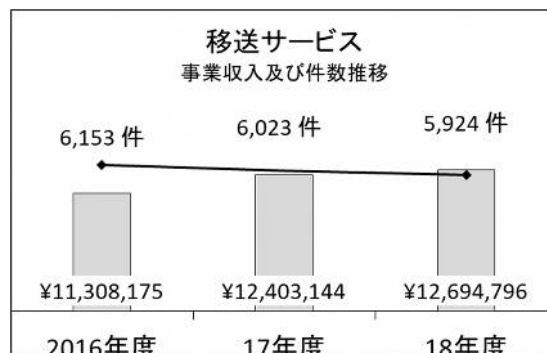
本年実績 0 件



② 移送サービス事業

根拠事業 自主事業

事業概要 通院や買い物、社会参加など外出の際に公共交通機関を利用して出掛けられない方へ、福祉有償運送サービスを行った。



③ 地域ふれあい事業

根拠事業 自主事業

事業概要 「さをり織り教室」、「お茶を楽しむ会」、コミュニティカフェ「風喫茶」、常設居場所「地域の縁側 グリーン・ラソ」「地域の縁側 ラソ・プラザ」の活動を通して、どなたでも利用できる、活躍できる居場所を提供すると共に、絆を知っていただく機会を設けた。

・ 地域の縁側グリーン・ラソ

東浦町初の常設居場所として、どなたでも気軽に参加できる仕組みや雰囲気づくりを行うと共に、見学や相談に応じ、東浦町全域に居場所が増えるよう、会議や働きかけを行った。

えんがわ体操、歌声喫茶、囲碁将棋麻雀の日など、日々のプログラムや、「モーニング」「まかないシェフランチ」「夜カフェ」「放課後ラソ」（看護職・福祉職の情報交換会）、「え・ほんカフェ」の継続。また、新たに住民主体型デイサービス「サロン・ド・ラソ」、「フォーク酒場」もスタート。人材の発掘、居場所の可能性を探ることができた。

・ 地域の縁側ラソ・プラザ

常設居場所2号店として、ボランティアさんによる運営の仕組みや、気軽に来ていただける雰囲気づくり、メニューの開発など、開設の準備を行った。



・ さをり織り教室

毎週火曜日・木曜日と月1回土曜日に、さをり織り教室を開催。

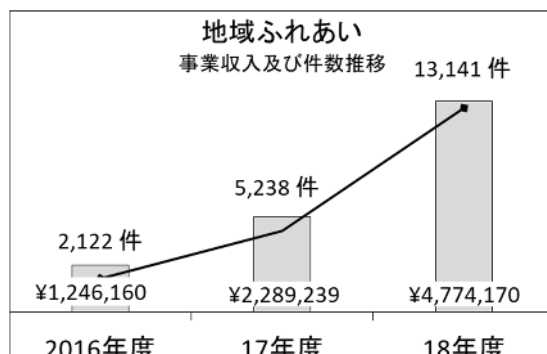
12月には「あんきにきて家」で作品展を開催した。

・ お茶を楽しむ会

毎月第3水曜日、茶道の先生やボランティアさんに支えられ、風ハウスにて開催。

・ コミュニティカフェ

毎月第1火曜日と第3金曜日、風ハウスにて「風喫茶」を開催。ケーキ作りや喫茶のボランティアさんに支えられた。

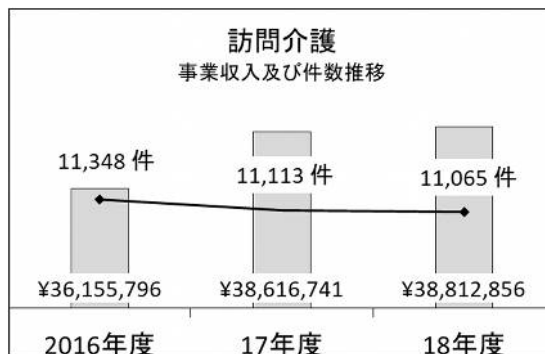


④ 介護保険事業

○ 訪問介護・介護予防訪問介護相当サービス・訪問型サービス A

根拠事業 介護保険法

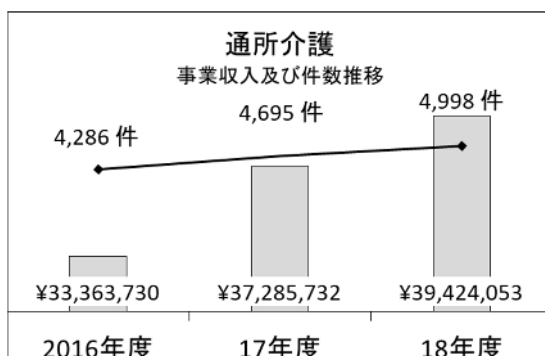
事業概要 介護保険法に基づく訪問介護等の事業を行った。ご利用者の気持ちに寄り添い、いつまでも自宅で暮らし続けるため、生きる希望につながるような支援を心がけた。



○ 通所介護・介護予防通所介護相当サービス

根拠事業 介護保険法

事業概要 介護保険法に基づく通所介護等の事業を行った。自己選択・自己決定の仕組みを大切に、ご利用者お一人ひとりの意思を尊重したプログラムを展開。楽しく通い、機能を向上し、生きがいが持てるよう支援した。



⑤ 障がい者総合支援事業

○ 居宅介護など

根拠事業 障がい者総合支援法

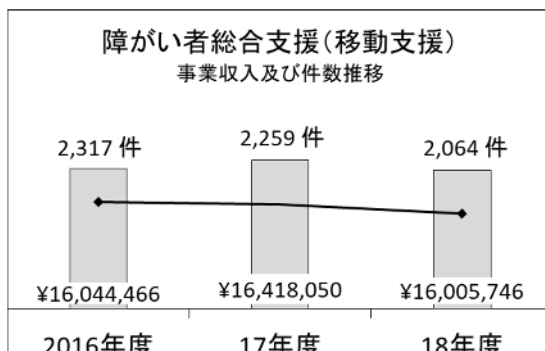
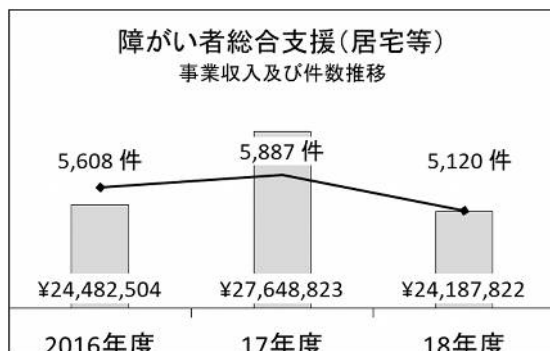
事業概要 居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護のサービスを行う。ご利用者の気持ちに寄り添い、その人がその人らしく暮らし続けられるよう、また生きる希望につながるような支援を行った。



○ 移動支援

根拠事業 障がい者総合支援法

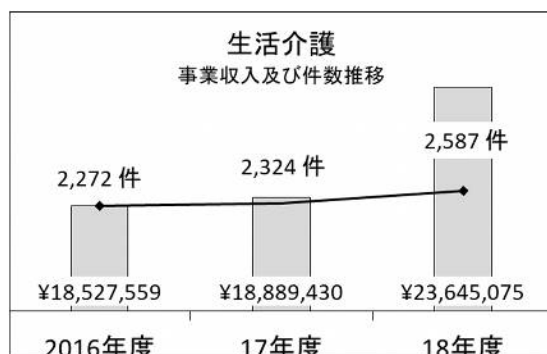
事業概要 地域生活支援事業の移動支援では、ご利用者の気持ちに寄り添い、希望に沿った余暇支援などを行った。



○ 生活介護

根拠事業 障がい者総合支援法

事業概要 日常的に介護を必要とする方に対して、日中活動を行った。障がい特性を理解し、自己選択・自己決定を尊重。ご利用者の気持ちに寄り添えるよう心がけた。



2. その他の事業

○ 物品販売事業

根拠事業 自主事業

事業概要 会員が作成した手作り品を販売し、楽しみや生きがい作りにつなげた。また、町内授産施設の生産品を販売することで、生産品販売の促進や障がいに対する啓発活動を行った。

- ・ 絆の玄関ホールや地域の縁側グリーン・ラソにて、野菜やパン、シフォンケーキ、手作り品の販売や、地域の皆さんからご寄付いただいた物品でふれあいマーケットを常時開催した。
- ・ 「於大まつり」「にじいろフェスタ」への模擬店の出店や、「絆まつり」を開催した。

3. 委員会活動報告

○ リスク予防向上委員会

年2回の防災訓練（春：地震、秋：火災）を実施。開催曜日を変えることにより、ご利用者とスタッフが違う組み合わせになるよう設定した。

また、年1回委員会作成のチェックリストをもとに自己監査を実施。必要書類の不備のチェックと充実を図った。

○ チャレンジアップ（研修）委員会「通称：チャップ」

「共に学び合う」チャップの2018年度は、基礎知識と生活支援を中心に具体的な内容の講習会を開催。2019年度は、基礎知識と共に感染症や食中毒の予防などのリスク管理も盛り込んだ講習会を予定している。

○ 三大まつり委員会「絆まつり、於大まつり、にじいろフェスタ（福祉まつり）」

春の於大まつりに始まり、秋のにじいろフェスタと、地域のまつりに参加した。夏の絆まつりは「出会いはここから ～L I F E & M U S I C～」をテーマに、歌あり、踊りあり、演奏あり。楽器づくりやウクレレ・ハンドベルの体験コーナーも設け、音楽を通して一体感を高め、体験参加型のまつりとして皆さんと盛り上がった。毎年多くのボランティアの方に参加していただき、絆が多くの方の支えられていることを実感する機会にもなっている。